

「空襲・戦災資料」をいかにアーカイブし、市民に還元するか、をめぐる試み

事業責任者 国際文化学研究所・教授・長志珠絵

□取り組みの概要・目的

「神戸における戦災アーカイブコレクション」刊行にむけての資料整理→目録作成→行政への展示案・構想の提案・共有→地域の平和教育・次世代継承の試みを歴史文化資源として活用

□今年度の主な取り組み

1) 神戸市寄贈の戦災資料群の保存と活用に向けて

整理・目録等の作成、行政担当関係者との情報交換、今後の展示構想・資料保存活用にむけてのアウトプット・提言等

2) 1)の活用としての展示構想

①夏季中央図書館展示への資料提供

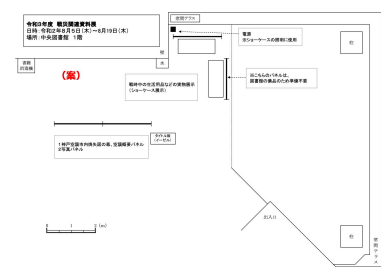
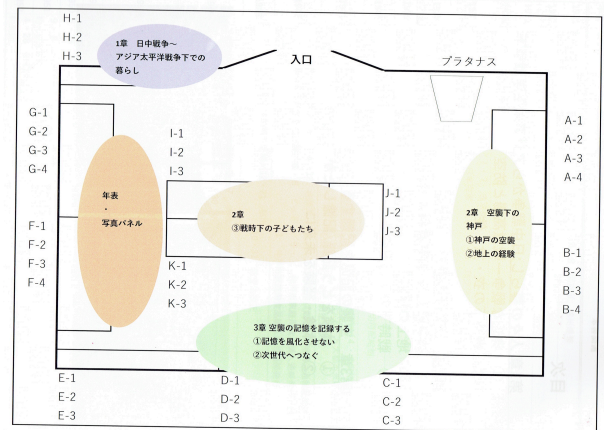
②資料活用構想に向けた冊子作成準備

の取り組み、月例会議等

(於神戸大学及Zoom)の開催

3) 学会等での「戦災資料」をめぐる

議論の提起



□月例会議(2021.6～2022.1)による進捗状況

1) 神戸市寄贈戦災資料の整理・目録作成

2) 兵庫県下の戦災記録日誌の展示利用構想案作成

3) 2) →「地域連携報告書」作成予定(2022.3, A4 70頁)

